

④再処理施設（放射性気体廃棄物）

日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所 再処理施設			クリプトン [^{85}Kr] (Bq)	ヨウ素 [^{129}I] (Bq)	*15
	再処理施設合計		N. D.	N. D.	
	年間放出 管理目標値		8.9E+16	1.7E+09	
日本原燃（株） 再処理事業所 (再処理施設)		放射性 アルゴン (Bq)	クリプトン [^{85}Kr] (Bq)	ヨウ素 [^{129}I] (Bq)	
	再処理施設合計	N. D.	N. D.	N. D.	
	年間放出 管理目標値	—	3.3E+17	1.1E+10	

日本原子力研究開発機構 再処理施設		全粒子状物質		
		[全 α] (Bq)		[全 $\beta\gamma$] (Bq)
	再処理施設合計	N. D.		N. D.
	年間放出 管理目標値	*14 2.2E-08		*14 1.1E-04
日本原燃（株） 再処理事業所 (再処理施設)		その他核種 (α 線を放出する核種) (Bq)	左記内訳(核種別) プルトニウム [$\text{Pu}(\alpha)$] (Bq)	その他核種 (α 線を放出しない核種) (Bq)
	再処理施設合計	N. D.	N. D.	N. D.
	年間放出 管理目標値	3.3E+08	—	9.4E+10

注：放射性気体廃棄物の放出放射能 (Bq) は、排気中の放射性物質の濃度 (Bq/cm³) に排気量を乗じて求めている。
 なお、放出放射能濃度が検出限界濃度未満の場合は N. D. と表示した。年間放出管理目標値「—」は目標値を
 定めていない。
 検出限界濃度は次のとおり。(Bq/cm³)

日本原子力研究開発機構 再処理施設

^{14}C	: 4.0E-05 以下
^{129}I	: 3.7E-08 以下
全粒子状物質 (全 α)	: 1.5E-10 以下
^{85}Kr	: 2.4E-03 以下
^{131}I	: 3.7E-08 以下
全粒子状物質 (全 $\beta\gamma$)	: 1.5E-09 以下

日本原燃(株)再処理事業所(再処理施設)

放射性アルゴン	: 1E-04 以下
^{85}Kr	: 2E-02 以下
^{129}I	: 4E-08 以下
^{131}I	: 7E-09 以下
その他核種 (α 線を放出する核種)	: 4E-10 以下
	(全 α に対する値で代表した。)
$\text{Pu}(\alpha)$: 4E-10 以下
その他核種 (α 線を放出しない核種)	: 4E-09 以下
	(全 $\beta(\gamma)$ に対する値で代表した。)
^{106}Ru - ^{106}Rh	: 4E-09 以下
(粒子状 ^{106}Ru 及び揮発性 ^{106}Ru それぞれに対する値を示した)	
^{137}Cs - ^{137m}Ba	: 4E-09 以下
^{90}Sr - ^{90}Y	: 4E-10 以下
^{14}C	: 4E-05 以下

*15：以下、「日本原子力研究開発機構 再処理施設」という。

④再処理施設（放射性気体廃棄物）（続き）

ヨウ素 [¹³¹ I] (Bq)	トリチウム [³ H] (Bq)	炭素 [¹⁴ C] (Bq)
N.D.	2.0E+11	7.5E+09
1.6E+10	5.6E+14	5.1E+12
ヨウ素 [¹³¹ I] (Bq)	トリチウム [³ H] (Bq)	炭素 [¹⁴ C] (Bq)
N.D.	1.3E+11	N.D.
1.7E+10	1.9E+15	5.2E+13

左記内訳（核種別）		
ストロンチウム -イットリウム [⁹⁰ Sr- ⁹⁰ Y] (Bq)	ルテニウム -ロジウム [¹⁰⁶ Ru- ¹⁰⁶ Rh] (Bq)	セシウム -バリウム [¹³⁷ Cs- ^{137m} Ba] (Bq)
N.D.	N.D.	N.D.
-		